

栃木東中「東中だより」2月号



【学校教育目標】＜生きる力の育成＞

- よく考え、自ら学ぶ生徒
- 豊かな心と強い意志をもった生徒
- 健康で、自他の生命を大切にする生徒

【目指す学校像】＜経営の指針＞

竹のように、誰もが“いちずに天を目ざす”東筭学舎

【目指す生徒像】＜東筭の心得＞

- さわやかで、明るくあいさつができ、仲良く活動する。
- 忍耐強く、黙って清掃や作業に取り組む
- 目的をもって、いちずに学習・運動に励む
- 気品があり、場に応じた正しい言葉遣いができる。

平成26年 2月12日 発行 文責：石嶋和夫

白い大地で仲間と共に育もう 自立の心と感謝の心 ～今 歩きはじめる 大人への一歩～

2年生が、1月19日(日)～1月21日(火)の2泊3日で、福島県の猪苗代スキー場において、上記のスローガンの下、“立志スキー宿泊学習”を実施しました。

【主な日程】

1 8:00 東中出発(バス3台)
／ 13:30～16:00 スキー学習(2時間半)
19 19:00～21:00 立志式(2時間)

1 9:00～11:30 スキー学習(2時間半)
／ 13:30～16:00 スキー学習(2時間半)
20 19:00～21:00 立志記念活動(2時間)

1 9:00～11:30 スキー学習(2時間半)
／ 16:05 東中到着
21 ※ 2年生にとって感動と感謝の二泊三日でした。

実行委員長：小浪健弘君 あいさつ

いよいよ、今日から三日間、立志スキー宿泊学習です。一人一人が、自分の将来に向かっての具体的な目標を持つためのよい機会です。全員が、しっかりと「立志」できるように、この三日間を活動しましょう。

また、立志式のほかに、スキー学習もあります。初めは滑ることができない人もいますが、インストラクターさんのお話をよく聞いて、ケガをしないように活動し、良い思い出を作りましょう。

この三日間は、校外での活動となります。普段と違うので、気持ちもいつもとは違うと思いますが、ルールをしっかりと守って活動しましょう。



※ 自立の心と感謝の心が培われ、スキーも上達しました。

職場訪問 大変お世話になりました！

1月22日(水) 5～6校時・放課後を利用して、1年生が「職場訪問」を実施しました。これは“キャリア教育”の一環として、以下のことをねらいとしています。

- 1 職業についての調べ学習を通して、職業に対する興味・関心を高める。
- 2 実際に働く人々の姿を見たり、話を聞いたりすることを通して、働く意義について考え、職業についての具体的な知識・理解を深める。
- 3 職業に就いている方々に直接会って話を聞くための方法やマナーを学習する。

“キャリア教育”とは？

将来、社会人・職業人として自立していくために必要な基盤となる能力・態度の育成を目指す教育です。



何かとお忙しい中、25もの事業所の皆様が、1年生の「職場訪問」のためにご協力くださいました。心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

皆様から懇切丁寧なご指導をいただき、生徒たちの意識と意欲が高まり、2年生で行う「職場体験」につながったように思います。

学校給食でお世話になっている全ての方々に感謝

「給食週間」中の1月27日(月)に、給食委員会が“給食集会”を開きました。毎日、当たり前のように食べている給食が、実に多くの方々によって支えられていることを理解し、その方々に感謝しようというねらいです。

今回は特に、本校がお世話になっている「給食共同調理場」について、栃木第三小の学校栄養士：安斎優希先生が紹介してくださいました。

- 共同調理場では、三小と東中の約800名分の給食を、9名の調理員さんたちが作っています。
- また、約3200枚のお皿とトレイを、手洗いで洗っています。おはしや食缶、パン箱などは、三つのシンクで3回洗っています。
- みなさんが、きれいに食べてくれると、フタを開けたとき、すごくうれしいです。
- 「早寝、早起き、朝ごはん」を覚えておいてください。

◎ 給食委員さんによる「給食〇×クイズ」も行いました。

本校教育活動の改善・充実のために

平成25年度「学校評価（教職員による自己評価）」の集計結果がまとまりましたので、お知らせします。

この評価は、4段階評価で、4に近い数値ほど高評価です。

※太字は、今年度の重点施策です。また、()内は昨年度の数値です。

1 よく考え、自ら学ぶ生徒 3. 28 (3. 27)

(1) 基本的な学習態度を育成する。3. 27 (3. 28)

- ア 「学習の約束」を徹底し、よりよい学習態度を定着させる 3. 22 (3. 48)
- イ 予習・復習等の家庭学習を充実させ、望ましい学習習慣を身に付けさせる。3. 19 (3. 14)
- ウ 「朝の読書」の徹底と山本有三作品の活用等により、読書指導や図書館利用を充実させる。3. 41 (3. 23)

3. 34

(2) 基礎的・基本的な内容の習得を図る。(3. 27)

- ア 授業のねらいや学習課題を明確に示すことにより、学習への意欲を高める。3. 33 (3. 48)
- イ 教材研究を深め、指導の内容と方法を工夫して、「わかる授業」を推進する。3. 44 (3. 29)
- ウ 事前・事中・事後の評価を適切に実施し、基礎的・基本的な内容の習得を図る。3. 25 (3. 05)

(3) 学び合いのある授業を工夫する。3. 34 (3. 33)

- ア **授業の中に「学び合い」の場を設定し、「言語活動の充実」に努める。**3. 42 (3. 43)
- イ 生徒理解を深め、個に応じた学習活動を展開することにより、「認めて、ほめて、励ます」指導を推進する。3. 50 (3. 43)
- ウ 問題解決的な学習や体験的な学習を推進し、思考力や表現力等を育成するとともに、コミュニケーション能力を養う。3. 11 (3. 14)

3. 18 (3. 17)

(4) 「総合的な学習の時間」(東筍タイム)の充実を図る。

- ア 探究的な内容構成の工夫や他教科等との関連を図ることにより、学び方やものの考え方を身に付けさせ、課題解決のための諸能力を育成する。3. 07 (3. 05)
- イ 地域の調査や職場訪問・体験等の体験的な活動を実施し、それらを分析・まとめ・表現する学習活動を通して、課題に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てるとともに、**キャリア教育の目指す基礎的・汎用的能力を育成する。**3. 29 (3. 29)

2 豊かな心と強い意志をもった生徒 3. 27 (3. 26)

(1) 基本的な生活習慣を育成する。3. 30 (3. 18)

- ア あいさつの励行や時間の厳守等の徹底を図ることにより、自律的に行動しようとする態度を育成する。3. 43 (3. 27)
- イ 校内のあらゆる場面での言語環境を整え、その場での指導を徹底することにより、場に応じた正しい言葉遣いができるようにする。3. 18 (3. 09)

(2) 自律の精神と思いやりの心を育てる。

3. 34 (3. 30)

- ア 心の教育の要である「道徳の時間」を充実させ、運動会・東中祭・宿泊を伴う行事等との関連を図ることにより、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度を養い、道徳実践力を育成する。3. 33 (3. 14)

- イ **人権教育の観点から本校の教育活動を見直し、改善・充実を図ることにより、生徒が互いの「よさ」を認め合い、良好な人間関係が築けるようにする。**3. 27 (3. 38)

- ウ 「無言清掃」を徹底することにより、「我慢・自制・気づき・思いやり」の四つの心を育成する。3. 39 (3. 36)

(3) 自主的・実践的な活動を支援する。3. 19 (3. 27)

- ア 生徒会活動の組織運営や活動内容を充実させ、「中央議会の活性化」及び「委員会活動の日常化」、さらに「リーダーの養成」を図ることにより、生徒が自らよりよい学校生活づくりに取り組もうとする自主的、実践的な態度を育成する。3. 19 (3. 18)

- イ 「学級活動」「道徳の時間」を充実させるとともに、「学級経営」に力を入れることにより、学年・学級の一員としての自覚を高め、よりよい集団づくりに参画しようとする態度や健全な生活態度を育成する。3. 19 (3. 43)

- ウ 「先施の心」で生徒に接し、「率先垂範」「師弟同行」に努めることにより、生徒と教職員との信頼関係を強化し、生徒が自ら「生徒心得」を自覚して規律ある学校生活を送ろうとする態度をはぐくむ。3. 19 (3. 19)

3 健康で自他の生命を大切にする生徒 3. 33 (3. 52)

(1) 健康な体づくりと体力の向上に努める。

3. 27 (3. 56)

- ア 保健や学級活動「適応と成長及び健康安全」の授業及び「保健だより」等の啓発活動により、生徒や家庭の健康管理と環境衛生に関する意識を高める。3. 25 (3. 52)
- イ 栃三小の学校栄養士と連携し、「給食だより」「究食新聞」による啓発活動や給食委員会の活動を通して、給食の衛生管理を徹底するとともに、食育を推進する。3. 11 (3. 62)

- ウ 体育の授業や運動部活動を充実させることにより、運動に親しみ、体力向上や健康維持に対する自覚を高める 3. 32 (3. 52)

(2) 自他の生命を尊重する心を育てる。3. 43 (3. 48)

- ア 教科指導はもとより、あらゆる教育活動において、目的と目標を明確にして指導・支援を充実させ、**自他の生命を尊重する心を育てる。**3. 41 (3. 43)

- イ 登下校時はもちろん、学年・学級の活動や部活動等において、交通指導及び防犯・防災指導を徹底し、交通事故をはじめ各種の事故防止に万全を期す。3. 43 (3. 52)

- ウ 事前調査(アンケート)の結果を生かし、学期1回の「教育相談」を充実させることにより、生徒の悩みや不満、不安に迅速かつ適切に対応できるようにする。3. 46 (3. 48)

「給食に関する標語」 ※クラスの代表作です。

- 1-1 小谷野真希さん 「給食は 作っている人の努力の塊 大切に食べよう」
- 小林 亨 君 「かたづけも 感謝を込めて ありがとう」
- 1-2 早乙女雅音さん 「ありがとう 感謝の気持ち 残さない」
- 1-3 早乙女汰一君 「給食を 残さず食べれば 健康的」
- 1-4 堂下陽平 君 「幸せだ 毎日困らず 食べられる」
- 2-1 初見香菜子さん 「いただきます 食べる命に 感謝して」
- 2-2 苗木莉音 さん 「『いただきます。』すべての命に 感謝して」
- 2-3 塚原瑛那 さん 「みんなと食べるこの時間 思い出せる 1ページ」
- 3-1 矢動丸美樹さん 「楽しい給食 みんなの思い出の 1ピース」
- 3-2 清水聖也 君 「感謝しよう 健康が保てる その食事に」
- 3-3 菅沼舜太郎君 「いただきます 尊い命に 感謝を込めて」
- 3-4 佐山晴基 君 「人の糧 命の重み 感謝せよ」

